

# みつくら

令和 8年 3月15日 第454号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 体力測定表を見て一喜一憂 「いきいき講座」

1月27日に大瀬川振興センターで花巻市長寿福祉課による「いきいき講座」が開かれ、あじさいの会（板垣福子会長）の7名が参加した。理学療法士2名、保健師2名、管理栄養士2名の指導で体力測定を行った。

測定内容は、椅子から立ち上がって3メートル先のコーンを廻って戻るまでの動作の速さ、手の握力、足指握力、開眼片足立ち、身体の柔らかさをみる長座位体前屈、5メートルを何秒で歩けるか5m最大歩行速度、の6項目を測定した。測定結果が出るまで、医療センターの理学療法士佐藤さんの指導で、椅子に座ったまま手のひらを逆に組み、前かがみになりながら交互に左右の足の脇に組んだ手を深く下げるストレッチ体操で普段は動かさない筋肉を使った。15分ほどで測定結果が配布され、前回と今回の比較があり、お互いに結果表を見せ合って一喜一憂していた。「いきいき講座」は今回で8年目。最後に記念撮影をして終了した。

## 農協の「冬期営農座談会」開催

花巻農協の冬期座営農談会は2月4日に23名（内農協5名）が出席して大瀬川振興センターで開かれた。この座談会は大瀬川全域を対象としたもので、農協事業の令和7年度結果や令和8年度の計画が話しあわれた。藤原正彦理事は「今年の冬は雪が多かったので、ダムの渇水に悩むことはないと思われま。この座談会で令和8年度の計画も示しますのでよろしくご協力をお願いします」と挨拶した。また、熊谷叔加石鳥谷支店長からも「令和7年産米の米価は高値でありました。そうした中で、集荷業者間の競争もあり、農協としても農家への概算金も大幅に引き上げました。引き続き協力をお願いします」と挨拶があった。座談会は、熊谷豊九区農家組合長の司会で進められ、令和7年度の農協事業実績や令和8年度の事業計画、農家に対する国の補助金制度などについて農協担当者から説明があり、参加者が熱心に聞いていた。

## 祈年祭・歳祝い祈禱祭・どんと祭開催

2月11日午後3時から山祇神社で責任役員・総代・歳祝い（参加者5名）を含めた20名が出席して、古稻荷神社の小笠原宮司により祈年祭・歳祝い祈禱祭・どんと祭が執り行われた。今年には雪が多く、駐車場をはじめ神社周辺の除雪を菅原清昇永久総代が行った。祈年祭では、これからの一年が豊かな良い年であるようにと五穀豊穡を祈るとともに、氏子の安泰を祈願した。また、歳祝い祈禱祭では申込みがあった13名の名前を祈願し、72歳の菅原教雄さん・畠山一男さん・菅原敏幸さん、73歳菅原ひろ子さん、92歳の菅原敬夫さんが玉串奉奠を行った。ご祈禱終了後には、神社前で出席者の記念撮影をした。このほか、42歳の畠山義朋さん、52歳の菅原康文さん、63歳の玉山静江さん、72歳の菅原豊さん、菅原三郎さん、73歳の板垣千鶴さん、83歳の菅原幸子さんにも後日御札やお守り等が配布される。

その後、境内でどんと祭を行い、集まった古い御札やしめ飾りなどを燃やした。直会は執り行われず、用意されたお酒・おつまみを配布して終了した。

## たろし滝が3年ぶりに測定される

大瀬川たろし滝測定保存会（熊谷幸夫会長）による恒例の「第52回たろし滝測定会」が2月11日午前10時から現地で行われた。大瀬川交通安全協会の協力で交通誘導が行われるなか、今年には過去最高となる約140人が参加し測定会が開催された。測定では、司会進行を事務局の板垣雄一さんが務め、最初に参加者全員で豊作祈願を行い、大瀬川神楽保存会の御神楽が奉納された。続いて、熊谷会長は挨拶で「久しぶりに立派なたろしを皆で確認できて嬉しい。作柄は、豊作と予想され秋には喜びを分かち合えるよう願っている」と期待を語った。このあとに保存会のジャンパーを着た役員が「たろし滝」の廻りに巻き尺を当て、小原勝新花巻市長がたろしの太さを「5メートル20センチ」と宣言した。

ここで、恒例となっている川柳が発表され、熊谷会長は「**お待ちかね 真冬の神秘 目のあたり**」、達増岩手県知事は「**太る滝 豊穡の兆し 希望立つ**」、菅原県南広域振興局長は「**氷柱よ やがて呼びこむ 恵み雨**」、佐々木岩手県議会議員「**氷柱に 豊作託し 春を待つ**」、小原花巻市長は「**雪を踏み 笑顔で仰ぐ 太たろし**」、花巻農協組合長は「**氷柱の 龍が如く 希望乗せ**」と詠んだ。最後には、見学者と一緒に「たろし滝讃歌」を歌い、行事は午前11時頃に終了した。

後日雨が降って、たろし滝崩落の危険があったため、13日に仮橋入り口に「危険!!」の表示とロープで仮橋の封鎖を行った。

## 中央長寿会が新年会を兼ねた「干支を祝う会」

大瀬川中央長寿会（板垣正博会長、会員35名）は2月12日に大瀬川振興センターで19名が参加して新年会を兼ねた「干支を祝う会」を開いた。板垣会長は「今年は午年で、しか

も60年ぶりの丙午とのことです。今日は、午年生まれの5名をお招きしての祝う会です。これからもお元気で、会のためにもよろしくお祈いします」と挨拶した。

午年で祝われた菅原得之さん、板垣和子さん、板垣契子さん、菅原佳子さん、板垣千鶴さんには、板垣会長から記念品が贈られた。続いて菅原得之さんから「皆さんからお祝いをしていただきましてありがとうございます。これからも皆様方のお世話になりながら過ごしていきたいと思っております。よろしくお祈いします」と謝辞があった。板垣邦博さんの乾杯で始まった「祝う会」では、久しぶりの顔合わせとあって賑やかな懇親会であった。

## 笑い熱気の軽スポーツ大会

第八区自治公民館（熊谷秀夫館長）は2月15日に大瀬川振興センターで令和7年度の軽スポーツ大会を開催し、25名が参加した。競技種目は、輪投げとディスクゲッターの2種目の個人戦で行った。ディスクゲッターの的を組み立てている間に輪投げの競技が始まってしまったが、輪投げ2台を用意し、一人2回投げて合計点で争った。輪投げが終わった人からディスクゲッターに挑戦し、9枚のパネルでできた的を狙って10枚のフライングディスクを2回投げ点数を競った。この競技では、ディスクがとんでもない方向に飛んだり、的のパネルに当たってもパネルが落ちなかったりなどハプニングもあって、笑い熱気のあふれる楽しいひと時となった。

いよいよ成績発表となり各競技の1位から3位までの方々豪華な賞品が贈られた。また5位と10位と15位には「とび賞」も贈られた。閉会后参加者には参加品が配られ帰途に就いた。

## 八区自主防災会が初期対応を研修

2月15日に第八区自主防災会（菅原昭悦会長）は大瀬川振興センターで花巻北消防署から4名の署員を招き30名が参加して研修会を開催した。昨年はAEDの操作方法を研修したので、今年は外で人が倒れている事態を想定しての研修を行った。人が道路などで倒れている場合、安全な場所に移動させることが急務であること。また、一人で移動させる場合は、相手の後ろに廻り上体を起こして、なるべく体を密着させ、自分の手を相手の脇の下から差し込み、前に組ませた相手の片腕を自分の両腕で掴んで安全な場所に移動させ、同時に大声で他の人にも助けを求め、救急車の手配などをお願いすること。次に、複数人で毛布を使用して人を搬送する方法では、敷いた毛布を縦半分畳み、倒れている人の身体を横向きにして、畳まれた毛布をなるべく身体の下に押し込み、人を逆向きに戻してから畳んだ毛布を広げて身体を仰向けに戻す。身体に沿って毛布の両端を内側に丸めて前後を4人で掴み、頭を上にして搬送する方法を学んだ。この時も、常に声を掛けて対象者の意識を確認することが大切だと教えられた。参加者は真剣な眼差しで研修に臨んでいた。